

八千代市立阿蘇中学校



1 学校の紹介

(1) 教育目標

新しい時代を担う、活力に満ちた豊かな生徒の育成

- めざす生徒像 <自学> 自分から学び互いに学び合う生徒
<友情> 明るく思いやりのある生徒
<健康> 健康で活力に満ちた生徒

(2) 読書活動に関する目標

読書を通して、広い視野と豊かな人間性を育む。

- ① 朝の読書や家庭生活の中で、読書に親しむ生徒
- ② 課題解決のために本や資料を活用することのできる生徒
- ③ 様々な分野の本を主体的に読み、視野を広げられる生徒
- ④ 良書を積極的に読み、思考を深められる生徒

(3) 学校・地域の概要

- ① 創立 昭和22年5月
- ② 生徒数 201名 [1年生64名, 2年生71名, 3年生66名]
- ③ 学級数 7学級 [各学年2学級, 特別支援学級1学級]
- ④ 概要

本校は、八千代市の北東部に位置する。学区は農業を中心とした阿蘇地区周辺と、国道16号線沿いの米本団地全域、一部新興住宅地を合わせた範囲で、かなり広い。徒歩では通学に片道1時間以上かかる生徒もおり、毎年、20人前後の生徒が自転車通学をしている。

現在の本校は、大変落ち着いている。生来の純朴な気質がよい方向に表れ、何事も前向きに取り組むまじめな雰囲気が全体に浸透している。日々の地道な生徒指導と共に、数年前から全校で取り組んでいる「共同的な学びによる授業改革」が、原動力となったと考えられる。全国学力学習状況調査の結果では、全国及び県の平均にまだまだ届かない現状であるが、授業に背を向けている生徒、やらずに諦めている生徒がほとんど見られなくなってきた。朝の読書も静寂が保たれている。前出の調査では、読書が好きだと答えた生徒の割合は全国・県平均より高い。読書活動を充実させることで、さらに主体的で豊かな学びを実現させていけるのではないかと思う。

2 自校の図書館の現状

本校の図書館は第2学年と理科室・生徒会室等のある3階東側の突き当たり部分にあり、突き当たりが図書閲覧室、その右手前が図書室となっている。今年度、近くの阿蘇小学校が耐震工事につき、2学期いっぱい本校に同居することになった関係で、図書閲覧室は阿蘇小学校の図書室となり、夏休みに簡単な改装工事が行われた。それに伴い、夏休み前から図書閲覧室の本を図書室に移動したり、古い本の廃棄作業を大幅に進めた

りといった作業を市の職員の方々の協力も得て行った。3学期、阿蘇小学校が元に戻り、図書閲覧室を復帰する作業を行っているところである。

2学期末現在の蔵書数は10,898冊。蔵書管理については、市内の他の公立小中学校同様、電算化が終了している。寄贈図書等についても学校司書が速やかに蔵書登録をしてくれている。図書室内館の環境整備については書架の見出しや一通りの掲示物はあるが、生徒をひきつける魅力ある環境という点では改善や工夫がまだまだ必要である。

図書室の利用は、月～金の放課後で、図書委員が貸し出しの手続きに当たっている。前年度までは昼休みに行っていたが、昼休みに学年や行事関係での集まりが多く、利用する生徒が少ないということで、今年度は放課後の開館とした。が、やはり、利用者は少ない。位置的に生徒達の動線を外れた所にあることも影響しているようだ。また、正直なところ、図書室の方は暗くて狭い印象がある。閲覧室は採光、広さの点で授業にも使いやすい部屋なのだが、書架が少ない。調べ学習を充実させるためにも、図書室(閲覧室)の環境を利用しやすく魅力的なものに変えていくことが課題である。

3 司書教諭(図書主任)の取組

(1)校内組織と主な役割

- ・学校図書館年間指導計画の作成
- ・蔵書点検・管理
- ・図書委員会の指導
- ・授業の支援
- ・新刊図書の選書と購入
- ・図書室の管理・環境整備

(2)生徒や教員に対する支援

①図書館の運営に関すること

《整備と管理》

- ・蔵書にはすべてバーコードをつけて管理する。
- ・年度当初に教頭が全校生徒、教職員、クラス名のデータを市の教育センターに届けることにより、それぞれのバーコードが作られる。図書室のカウンター内にはバーコードファイルを設置。本のバーコードと併せて貸出・返却の処理を行う。
- ・図書は十進分類法によって配架。棚上に見出しを作成。
- ・新刊図書・文庫本・漫画はコーナーを設ける。文庫本は作者名で五十音順に配架。

《選書》

- ・年2回に分けて購入。
- ・青少年読書感想文コンクールの課題図書は3冊ずつ購入する。
- ・本の巡回見本展示を依頼し、教職員、生徒(図書委員)の希望も取り入れる。

②読書推進活動に関すること

《朝読書》

毎日、登校完了時刻から15分間行っている。チャイム前から読み始めている生徒も多く、どの学年も静寂が保たれている。この時間は学級担任も読書することになっており、協力を得ている。



《学級文庫の貸し出し》

図書室の本を各学級に10冊ずつ貸し出している。選書は図書委員が行うが、読み物以外のジャンルの本も入れるように指導し、毎月の委員会の際に入れ替えを行っている。朝読書で本を忘れた生徒、まだ新しい本が準備できていない生徒への対応にもなっている。今年度は各学級に専用のカゴを置き、貸出リストも作成して管理に努めた。



《図書日より「Happiness」の発行》

図書委員にも参加させながら、毎月発行。内容は、本の紹介(図書委員より、先生方より、新刊図書等)、読書に関する名言、クイズ、等々。



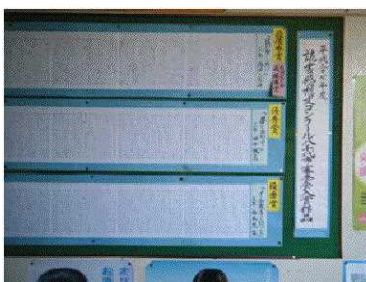
《課題図書の学級巡回展示》

1学期末に青少年読書感想文コンクールの課題図書の紹介を授業や図書日よりで行うと共に、課題図書3冊を1週間ごとに各学級に見本として貸し出した。



《読書感想文優秀作品紹介》

市のコンクールで入賞した作品を掲示した。仲間の作品を読むことが、生徒にとっては一番の刺激となる。本を読む視点を広げることにも繋がると考えている。



(3)学習等に関する支援

①教科指導に関すること

美術科	美術全集の貸し出し
英語科	英和・英辞典の貸し出し(1・2年)
国語科	1年 図書館ガイダンス 4月中に「図書館利用ガイダンス」を実施。図書館の利用の仕方やNDCに沿った本の配架、探し方等について指導する。 2年 <u>絵本の読み聞かせ</u> ・・・図書室・中央図書館より約100冊用意 3年 <u>ブックトーク</u> ・・・図書室・中央図書館より約200冊用意 俳句・・・小中学生の作品集を鑑賞や創作に生かす 全学年・・・国語辞典の貸し出し

【絵本の読み聞かせ・ブックトークについて】

「2 自校の図書館の現状」で述べたように、今年度は阿蘇小学校が本校に同居するという機会を得たので、国語科では、絵本の読み聞かせやブックトークを小学生を対象に行う活動を授業に組み入れた。(阿蘇小学校は全学年単学級である。)

1 絵本の読み聞かせ

実施者・・・中学2年生(班で1冊) 対象者・・・小学1・2年生

事前に教科担任と学校司書で小学1・2年生向けの絵本を選定する。阿蘇中・阿蘇小の絵本に加え、市中央図書館の団体貸出を利用。各学級に20冊、候補となる本を提示した。班で読み合って1冊決定し、役割を決めて練習した後、クラスで発表会を行う。相互評価で代表班を決定し、小学1・2年生の各教室で、朝読書の時間に発表した。班によってはペープサートを準備したり、劇の要素を取り入れたりする工夫をしていた。厳密には「読み聞かせ」と言いがたいところはあるが、生徒たちの工夫を生かした発表を小学生が楽しそうに聞いてくれた。練習の初期段階で、市内で読み聞かせや人形劇の活動をしている「雲母^{きらら}さん」の読み聞かせを聞かせていただいたことが生徒たちにとって大変よい刺激になったのを感じている。



2 ブックトーク

実施者・・・中学3年生(班で3冊) 対象者・・・小学3・4・5・6年生

2学期の授業で実施。テーマ(ジャンル)は教師サイドで設定し、夏休みに候補とする本の準備を行った。各班に1テーマ8冊の本を渡すように計画し、やはり中央図書館を利用して延べ150冊余の本を用意した。授業の概要は以下の通りである。

①ガイダンス。学校司書によるブックトークを聞く。(資料1)

②班でテーマを選択。候補として渡された本8冊を半月位かけて、朝読書の時間や休み時間を使って、或いは家で読む。

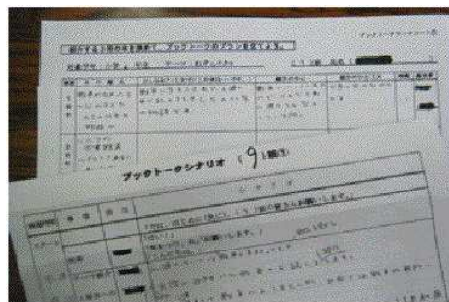
③読んだ本の感想をもとに、紹介する本3冊を決定する。(授業デザイン別紙)

④紹介する内容及び方法、班員の役割、本と本との繋ぎ方等を話し合う。(資料2)

⑤台本を作って練習。(資料3)

⑥中間発表会。改善点を練習しリハーサル。

ファンタジー
(3年生)
の候補本
8冊です



⑦本番。小学生の各教室を訪問し、各班10分～15分で実施。(資料4)



⑧振り返り(資料5)

ブックトークは生徒たちにとって初めての経験であったが、クイズを取り入れたり、関連する小物を持ってきたり、イラストを拡大したりと中学生らしいさまざまな工夫を加えた発表で、どの教室も小学生の反応がよく、和やかな雰囲気を進めることができた。発表後、すぐに「貸して」と言ってくる子もいた。紹介した本が置いてある場所を記したプリントを配布したので、その後、どの学年も借りに来る児童が見られた。さまざまな手応えを感じることができて、生徒たちが達成感の味わえる活動となった。

②特別活動に関すること

《図書委員会の活動》

- ・放課後の当番活動・・・貸出・返却手続き、書架の整理
- ・図書だよりの原稿作成(クイズコーナー、本紹介等)
- ・学級文庫の選書、管理
- ・新刊本の選定
- ・掲示物作成
- ・朝読書の呼びかけ、点検
- ・キャンペーン活動



本年度は「秋の読書キャンペーン」として、「学年みんなで200冊読もう！」という取り組みを行った。生徒は1冊読み終わると、学年色の丸いカードに読んだ本の題名と自分の氏名を書いて図書委員に渡し、それを掲示物にしていくというものである。読書の中身に関わる取り組みではないが、仲間や先輩の読んだ本に目をとめている姿もよく見られた。キャンペーンとしては3学年とも、目標を達成することができた。



(4)学校司書や公共図書館との連携

①学校司書との連携

- ・蔵書管理・・・寄贈図書の手続きも学校司書が速やかに行ってくれている。特に廃棄手続きにおいては、学校司書の支援に頼るところが大きい。
- ・授業・・・今年度は国語のブックトークの活動において、尽力してもらった。
選書 テーマごと、対象学年ごとに選書し、中央図書館の団体貸出の手続きをすべて担当してくれた。
- ブックトーク演示** ガイダンスの中で。生徒の意欲付けになった。
- ・掲示・・・図書室内、廊下の掲示物を共に作成している。
- ・図書委員会・・・図書委員の放課後の活動を共にし、未返却本のリストアップ等、委員会活動を補助してくれている。
- ・図書だよりへの寄稿

②公共図書館との連携

今年度創設された市の中央図書館の団体貸出を利用した。学校司書の助けもあって有効に活用することができた。他教科の職員にも、団体貸出の利用の仕方を伝え、支援していきたい。

4 成果と課題等

〈成果〉

- ・今年度着任し、様々な仕事を知ることからのスタートだったが、学校司書と連携して新しい試みを重ねることができ、次年度に繋がる手応えを得られた。
- ・小学生へのブックトークや読み聞かせ等、今年度ならではの充実した活動ができた。
- ・公共図書館の団体貸出を利用することで、活動の幅が広がることを体験できた。
- ・図書だよりを定期的に発行し、読書への啓蒙の一助とすることができた。

〈課題〉

- ・図書室の環境整備
図書閲覧室をメインの図書室として書架配置を検討したいと考えている。図書閲覧室は今年度阿蘇小学校の図書室となるにあたり、パソコンの配線も整備されたので、より授業での活用の幅が広がったといえる。授業にはほとんど使われていない現状を、環境面からも打破していく必要がある。
- ・読書の質の向上
朝読書が静寂に行われており、読書好きの生徒は確実に増えているが、語彙の少なさ、文章読解力の低さを日々痛感しているのも事実で、読書の質を上げていく必要を感じている。良書に目を向けさせるような活動を積極的に行っていくべきであろう。次年度に向け、「阿蘇中推薦図書」を選定することを学校司書と検討中である。
- ・授業に活用できる図書の購入及び職員への支援
国語以外の教科で図書室の本を授業に活用していることがほとんどないのが現状である。新刊購入の際の各教科への呼びかけ、授業での活用例の紹介等、積極的に支援していきたい。

一 小学生に本の魅力を伝えよう。一

ブックトークに挑戦！

「ブックトーク」とは・・・
 テーマを一つ決めて、そのテーマに関わるお薦めの本を数冊紹介する活動です。
 ◎普段通り、クラスの中で行ってもよいのですが、阿蘇小学校が身近にいるこの環境を生かさないのはもったいない！・・・ということで、今回は、
「その本読んでみたいな！」「今度読んでみよう！」と小学校の子どもたちの心を動かすようなブックトークにチャレンジしてみましよう！

- ★話し手：3年生全員(班単位)
 ★聞き手：阿蘇小学校3年生～6年生
 ★場 所：小学校の各教室
 ★日 時：10月29日(木) 5校時
 30日(金) 5校時
 ※時間は、小学校の日課や各学年の都合に合わせて行います。担当する学年によって、行う日時が異なるかもしれません。

★各学年のブックトークテーマ

	3年1組	3年2組
3年生	ファンタジー	ふしぎ
	動物	きずな
4年生	スポーツ	自然環境
	きずな	ファンタジー
5年生	戦争と平和	スポーツ
	伝統文化	きずな
6年生	きずな	伝統文化
	自然環境	夢の実現
	生と死	戦争と平和

各班で一つのテーマを担当します。

- ★トーク時間：各班10分～15分
 ★紹介する本の冊数：3冊

★本番までの予定

行事等	3年1組	3年2組
10月2日(金)	ガイダンス 担当テーマ決定	ガイダンス 担当テーマ決定
3日(土)		
4日(日)		
5日(月)		
6日(火)		
7日(水)		
8日(木)		
9日(金)	中間テスト	
10日(土)	授業参観	
11日(日)		
12日(月)	体育の日	
13日(火)	振替休業	
14日(水)		
15日(木)		
16日(金)		テスト返却
17日(土)		3冊決定・内容検討
18日(日)		
19日(月)	公開研修会	3冊決定・内容検討
20日(火)	後期時間割開始	
21日(水)		●本の内容の紹介の仕方 ●本のつながり ●役割決め・台本作り ●練習
22日(木)		
23日(金)		
24日(土)		
25日(日)		
26日(月)		
27日(火)		中間発表会 修正・リハーサル
28日(水)		中間発表会 修正・リハーサル
29日(木)	救命体験・被爆体験講話 茶道教室	
30日(金)		小学生にブックトーク

ブックトークワークシート①

紹介する3冊の本を決めて、ブックトークのプランを立てよう。

対象学年：小学 年生 テーマ： ()班 氏名 ()

順番	本の題名	どんな本？(1文で)「この本は・・・です。」	テーマとのつながり	紹介のひと工夫	時間	担当者
(例)	イチローに教えたこと、教えられたこと (テーマ：夢の実現)	この本は、イチロー選手の高校時代の野球部の監督だった筆者が、当時のイチロー選手のことを書いた本です。	小さいときからの夢を実現した信念と努力の人。	読み聞かせを入れる。(イチローが1人で夜練習していた場面。)	5分	川尻 大河原 中村
(例)	オーケストラと吹奏楽 (テーマ：音)	この本は、オーケストラと吹奏楽について、それぞれの特徴や魅力について書いてある本です。	世界各国の人々が楽しみ、進化してきた歴史ある二つの音楽。	楽器の実物をいくつか見せて吹いて音を聞いてもらう。	6分	熊谷 渡部
1冊め						
2冊め						
3冊め						

ブックトークシナリオ ()班①

資料3

経過時間	事項	担当	シナリオ
スタート			「では、はじめに(次に)、()班の皆さんお願いします。」
	挨拶		「はい！」 「気をつけ、礼」「お願いします。」 「こんにちは。」
	テーマ紹介 1冊目への導入 1冊目		----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----

資料4

★3年生のみなさんへ★

※ ここは国語系の生徒がメッセージを書いて、小学生の人数分印刷しました。

阿蘇中学校3年1組 国語係()

今日のブックトークで紹介した本です。

テーマ	1冊目	2冊目	3冊目
ファンタジー	ねこなき山小学校	おとこの子とおもっていた犬	アラジンと魔法のランプ
	公	公	小・中
動物	ピリカ おかあさんへの旅	マリと子犬の物語	クモの巣図鑑
	小 公	公	公

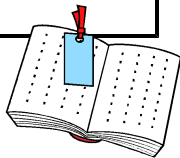
小・・・阿蘇小学校図書室にあります。 公・・・公立図書館にあります。

中・・・阿蘇中学校にあります。(借りたい人は栗原先生にお願いしてください。)

ブックトークを振り返ろう

3年()組 ()番 氏名()

★私の班は [] のテーマで阿蘇小の [] 年生にブック
トークを行いました。



【1】 今回のブックトークはどうでしたか？ 良かった点や
課題だと思う(うまくいかなかった)点、その他感想等、
本番および本番までの取り組みを含めて書いてください。

①班として

②自分の発表や担当した役割について

【2】 よいブックトークをするためには、どんな力が必要だと思いますか。

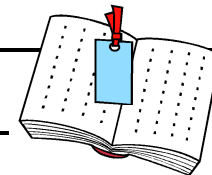
今回の経験をふまえて、具体的に述べて下さい。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

ブックトークを振り返ろう

3年()組 ()番 氏名()

★私の班は [] のテーマで阿蘇小の [] 年生にブック
トークを 行いました。



◎ 今回のブックトークについて自己評価してみましょう。

【本番を振り返って】

①班として(話し合い、練習)

②自分の発表部分について

【本番までの取り組みを振り返って】

◎ ブックトークを行うとどんな力が身につくと思いますか。今回の経験をふ
まえて、いくつでも書いて下さい。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

1. 単元名 「ブックトーク」～本の魅力をわかりやすく伝えよう～

2. 本時のねらい

- ・選定の基準をふまえて、ブックトークを行う3冊の本を決めることができる。
- ・どのように3冊の本を紹介するか、プランを立てることができる。

3. 流れ

(1) 導入

[5分] コの字

- ・3冊の本を選ぶ基準を全体で確認する。
 - ①おもしろい。興味深い。
 - ②テーマとのつながりを語れる。
 - ③3冊のジャンルが異なる等、バラエティに富んでいる。

(2) **ステージ1**

[10分] グループ

ブックトークする3冊を決めよう。

- ・読み合った本について感想を発表し合う。
- ・選ぶ基準に照らし合わせて、3冊を決定する。
- ・本の順番を話し合い、ワークシートに記入する。

(3) ステージ1の確認

[5分] コの字

- ・プランを作るにあたって、心がけること、工夫することを共通理解する。
 - ①班員全員が何らかの話す役割を持つ。軽重はあってよい。
 - ②どの本も紹介の仕方を工夫する。楽しんでもらえるように！
 - 《例》・一部読み聞かせをする。
 - ・効果的な絵や写真のページを見せながら話す。
 - ・関わりのある実物を持ってきて見せる。
 - ・質問したり、クイズを取り入れたりする。
 - ・二人の会話形式で進める。
 - ・フリップを作って見せながら話す。(登場人物の関係図など)
 - ③時間配分(班全体で10～15分)を考える。本によって長短があってよい。

(4) **ステージ2**

[25分] グループ

3冊の本をどのように紹介するかプランを立てよう。

- ・それぞれの本の内容を、簡潔に紹介する文をワークシートに書く。
- ・3冊の本をどのように紹介するか話し合う。

(4) まとめ

[5分] グループ→コの字

- ・各班の進捗状況を確認し、次時の予定を確認する。

4. モノの準備 本の選定基準・プランの共通理解事項を書いた紙(前掲用)
ワークシートの拡大版(前掲用)
ワークシート
候補本(各班8冊)

5. 座席表 (省略)